

住宅用火災警報器(煙式) 自動試験機能付

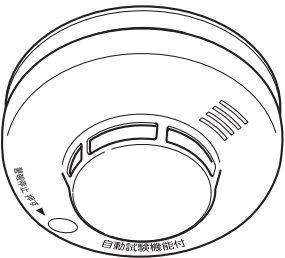


型式名 **SA-262E** (移報接点なし) / **SA-265E** (移報接点付)

取扱説明書 [保管用][保証書付]

このたびは、住宅用火災警報器を、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。なお、本書は取付後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。

- 消防法で定める住宅用火災警報器として設置できます。
- この警報器は消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この警報器は煙を感知して音声で警報を発する機能を持っていますが、火災の発生を未然に防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な感知になります。万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。



新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 (06) 6308-2310 代
【北海道】札幌 (011) 231-1101 代 【中部】名古屋 (052) 951-2650 代
【東北】仙台 (022) 295-6061 代 【静岡】静岡 (054) 255-1901 代
【北陸】金沢 (076) 234-5611 代 【関西】大阪 (06) 6308-2310 代
【関東】東京 (03) 5403-2707 代 【四国・中国】岡山 (086) 435-5087 代
新潟 (025) 365-1390 代 広島 (082) 568-2900 代
【九州】福岡 (092) 431-1881 代

A265EaCT_ (04) _

保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

警報器型式 **SA-262E/SA-265E**

保証期間 お買い上げ日から1年間

お買い上げ日	年	月	日
お客さま	お名前		様
	電 話 ()		—
販売店	住所・店名		
	電 話 ()		—

(販売店さまで必ず各欄に記入して、お渡してください)

新コスモス電機株式会社
TEL (06) 6308-2310 (代)

(裏面もご覧ください)

1. 安全上のご注意



ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- △危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- △警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- △注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

△危険

火災の警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 火元を確認し、消火してください。
- 消火が不可能なときは、避難してください。

△警告

- 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 警報器を落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。

- 定期的に(1ヶ月に1度)スイッチを押して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。

- ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。火災や故障の原因となります。

△注意

- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- 噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
 - 警報器をポリ袋などで覆う。
 - 噴霧が終わったら、換気後、ポリ袋を取り除く。誤作動の原因となります。
- 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。

△注意

- 引きひもを引いて火災警報音を止めるとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。
- 専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。
- 天井面に取り付ける場合、取付ベースの真下で取り付け作業を行わないでください。ねじの締め付け時に天井材のくずが目に入るおそれがあります。目に入った場合は、ただちに洗い流してください。
- 付属の取付ねじを使用して確実に取り付けてください。両面テープなどで取り付けると、落下によるケガやものが破損するおそれがあります。
- 取付ベースや警報器本体の取り付けは、確実に行ってください。落下によるケガやものが破損するおそれがあります。
- 正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤作動、故障の原因となります。

2. 各部のなまえとはたらき

- 取付ベース
- 煙感知部 煙を感知します。火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、警報を発します。
- 引きひも(別売品) 警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
- 設置年月記入欄 お取り付け年月を記入します。
- 移報接点出力端子(SA-265Eのみ) 外部機器(フザー・ライトなど)に接続するときに使用します。
- 引きひも取付部 ここに引きひも(別売品)を取り付けることができます。
- スピーカー 警報音が鳴ります。
- ランプ(赤色) 火災による煙を感知すると、ランプが点滅します。電池切れや故障しているときは、ランプが10秒おきに1回または3回点滅します。
- スイッチ 警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
- 電池収納部 付属の専用リチウム電池を取り付け、収納します。※ 専用リチウム電池の取り付け方法は、ウラ面の「取付説明」→「22 専用リチウム電池の取り付け」を参照してください。
- 引きひもガイド 引きひも(別売品)をこの溝に通して、警報器を取付ベースに取り付けます。

付属品

取付ねじ(φ 3.5 × 20) … 2本	専用リチウム電池 …1個
石膏ボードピン … 5本	取扱説明書(保証書付)[本書] …1枚

別売品

- 引きひも(型式名: HH-01)
… 1本

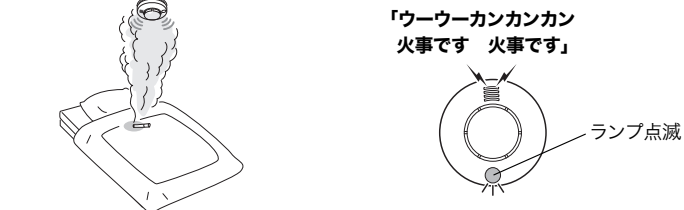
※引きひも長さ: 約70cm
使用しやすい長さにカットしてご使用ください。

3. 警報器のお知らせ機能について



火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、ランプが点滅し、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と警報します。



電池切れのときは

電池切れが近づくと、ランプが10秒おきに1回点滅し、「ピッ 電池切れです」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッ」音が鳴ります。

スイッチを押すと、ランプが1回点滅し、「ピッ 電池切れです」と1回お知らせし、以後36時間ランプ表示と「ピッ」音は停止します。

故障しているときは

故障していると、ランプが10秒おきに3回点滅し、「ピッピッピッ 故障です」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

スイッチを押すと、ランプが1～3回点滅し、「ピッピッピッ 故障です」と1回お知らせし、以後36時間ランプ表示と「ピッピッピッ」音は停止します。

故障状態では煙を感知できず、火災警報動作をしない場合があります。

- ※ 電池切れ警報中または故障警報中であっても、煙を感知した場合、火災警報が可能であれば火災警報を発します。
- ※ 36時間の停止中にスイッチを押すと、お知らせの音声を発しますが36時間のタイマーはリセットされません。
- ※ 36時間を経過すると、再度ランプが点滅し「ピッ」音(または「ピッピッピッ」音)が鳴ります。

〈自動試験機能〉

電池切れまたは故障した場合、自動的に検知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

おねがい

自動試験機能では、すべての故障は検知できません。
ランプが点滅しなくても1ヶ月に1回程度の点検を行ってください。

〈警報履歴確認機能〉

- 定期点検時にスイッチを押すと、過去10日以内に警報(火災・電池切れ・故障)があった場合、警報があったことをランプの点灯(または点滅)でお知らせします。
- ※ スwitchを押した日の過去10日以内で、最後に発した警報履歴のみ確認できます。
- ※ 警報器が故障している場合、この機能は働きません。
- スイッチを押すと、「ピッ 正常です」の後に以下の表示をします。
- 火災警報があった場合、ランプが約1秒間点灯します。
- 電池切れ・故障があった場合、ランプが約1秒間に3回点滅します。
- ※ 専用リチウム電池のコネクタを警報器に接続してから約25分以内については、警報履歴は残りません。

4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた



1 『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた【ランプが点滅】

△危険

警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難する。



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

119番への通報



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

2 火災以外で警報音が鳴ったときの処置のしかた

警報音を止めたいとき

- スイッチを押してください(約1秒)。引きひもがあるときは、引きひもを引いてください(約1秒)。警報音が止まり、ランプが消灯します(約5分)。
- ※ 引きひもは別売品です。
- ※ 警報を停止してから5分後、煙感知部が煙を感知している場合は、再度警報音が鳴り、ランプが点滅します。
- ※ 止まっている間に、警報作動原因を取り除けば、警報は止まります。

警報音が鳴った原因について

火災以外でも次のような場合には、火災警報動作をすることがあります。

- スプレー式殺虫剤、ヘアースプレーが警報器に直接かかったとき。
- タバコの煙を警報器に吹きかけたとき。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
- くん煙式殺虫剤などの煙殺虫剤を使用したとき。
- 湯気が直接かかったとき。
- 警報器が結露したとき。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に入ったとき。

5. 噴霧式殺虫剤を使用するときは

殺虫剤(くん煙式殺虫剤、加熱熱散式殺虫剤なども含む)を使用する際は、誤作動のおそれがあります。警報器を取り外し、殺虫剤がかからない場所に置かポリ袋で覆ってください。噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。また、ポリ袋で覆った場合はポリ袋を取り除いてください。

→ウラ面に続く

6. お手入れのしかた

煙感知部にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- ① 警報器を取り外す。(下記の「7. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- ② 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取る。布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。水または石けん水
- ③ 本体の表面がよく乾いてから取り付け。(ウラ面の「取付説明」→「3 取り付けかた」参照)
- ④ 本体を取り付けから、正常に動作することを確認する。(下記の「8. 定期点検」参照)

おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面を傷めることがあります。
- お手入れ後、煙感知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。

7. 警報器の取り外し・取り付けかた

取り外しかた 警報器を、ベースに押し付けながら左(反時計回り)に回し、止まったところで警報器を下に引いて外してください。

SA-265Eの場合 外部機器に接続(移報)している場合は、なるべく警報器を取り外さないようにするか、接続線が外れないように注意して外してください。

取り付けかた ウラ面の「取付説明」→「3 取り付けかた」を参照してください。

8. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。)

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- ② スイッチを押す(約1秒)。引きひもがあるときは、引きひもを引く(約1秒)。
- 「ピッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。
- ※ 移報接点信号は出力しません。
- 10日以内に火災警報または電池切れ・故障があった場合は、履歴を表示します。(「3 警報器のお知らせ機能について」参照)
- ※ 引きひもは別売品です。

外部機器との接続(移報)を確認する場合(SA-265Eのみ)

- ① スイッチを長押しする(約4秒)。引きひもがあるときは、引きひもを引く(約4秒)。
- 「ピッ」音の後に「ピッピッ」と鳴ります。
- ※ 引きひもは別売品です。
- ② スイッチから手を離します。
- ランプが点滅し「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と警報します。
- ※ 移報接点信号も出力します。
- ③ 1分経過するか、もう一度スイッチを押します。
- ランプが消灯し、「ピー」音が鳴り、終了します。
- ※ 移報接点信号の出力も停止します。

〈正常に動作しない場合は〉 動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、ウラ面の「9. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

→ウラ面に続く

9. 故障かな？と思ったら

修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災ではないのに火災警報動作する。	調理の煙・蒸気、殺虫剤、タバコの煙、浴室からの湯気などが警報器にかかっていませんか？	室内を換気してください。 頻繁に警報する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。
火災警報動作が止まらない。	煙感知部に煙が残っていたり、砂やホコリ、虫などが入っている可能性があります。	煙感知部内にうわち、ドライヤー（冷風）などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。 それでも止まらない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
約10秒間隔でランプが点滅する。約1分間隔で「ピッ」音または「ピッピッ」音が鳴る。	スイッチを押したとき、「ピッ」電池切れです」のメッセージが鳴りませんか？	専用リチウム電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。（オモテ面の「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
スイッチを押しても音声警報が鳴らない。	専用リチウム電池が確実に取り付けられていますか？	電池コネクタを確実に接続してください。（それでも動作しない場合は、販売店にご連絡ください。）
	専用リチウム電池が切れていませんか？（電池切れ警報をしていませんか？）	販売店にご連絡ください。

電池が切れているとき、またはリチウム電池を取り外した状態では煙を感知できず、火災警報動作をすることができませんので注意してください。

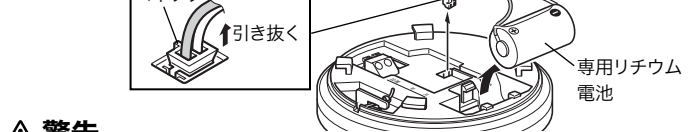
10. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はご購入日から1年間です。保証書をご参照ください。
保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合は、原則として有償修理となります。お取り付け時にご確認ください。
保証書は大切に保管してください。
保証期間経過後の故障、電池切れについては有料での修理となります。
- この警報器の機器交換の目安は10年です。
10年を経過した警報器は新しい警報器とのお取り替えをおすすめします。
- 警報器に異常がある場合は、修理、サービスを依頼される前に「9. 故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池の入手方法
電池交換が必要になったときは、販売店にご連絡ください。
電池型名：CR-2/3AZC22P
公称電圧：DC3V
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。

11. 廃棄について

廃棄するときは、本体と電池を分別することができます。
※ この製品に使用している電池は、「一次電池（リチウム電池）」です。一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

警報器と専用リチウム電池の分別のしかた
専用リチウム電池のコネクタを引き抜き、専用リチウム電池を取り出してください。



警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

取 付 説 明

【施工される方へ】

1 お願いとご注意

- この警報器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、指定されたお取り付けを行ってください。
- お取り付け終了後に、必ず動作点検を行ってください。万一、動作不良があったときは販売店にご連絡ください。外部機器へ接続される場合は、外部機器の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて動作点検を行ってください。
- 警報器の取り付けを行うまでは、警報器を袋から取り出さないでください。

2 取り付け前の確認

2-1 設置年月の記入

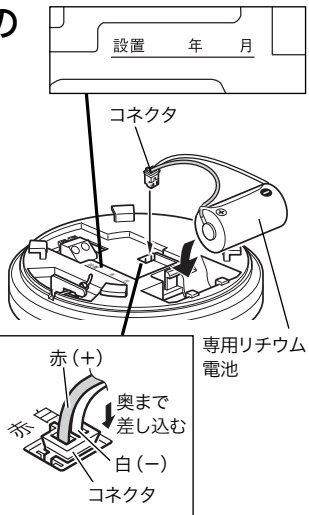
本体裏側の設置年月記入欄に、油性ペンなどで設置年月を記入してください。

2-2 専用リチウム電池の取り付け

注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。
コネクタが破損したり、電池がショートする原因になります。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。
- コネクタには極性があり、逆向きには接続できません。

- コネクタを接続する。
- 電池を電池収納部にはめ込んで取り付ける。



12. 仕様

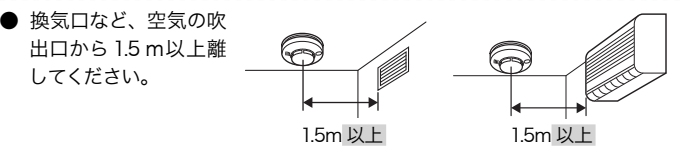
項 目	仕 様
種 別	光電式住宅用防災警報器
感 知 方 式	煙感知方式（光電式2種）
定 格	DC3V、300mA
電 源	専用リチウム電池（CR-2/3AZC22P）（DC3V）
電 池 寿 命	約10年 ^{※1}
試 験 機 能	自動試験機能
警 報 音 量	70dB（A）／m以上
外 形 寸 法	φ98mm × 41mm
質 量（電池を含む）	約130g
移 報 接 点 出 力 ^{※2}	無電圧a接点（DC30V、0.1A以下）無極性
使 用 温 度 範 囲	0℃～+40℃（結露しないこと）
復 旧 方 式	自己復旧方式
付 属 品	取付ねじ（2本）、石膏ボードピン（5本）、専用リチウム電池、取扱説明書（保証書付）（本書）

- ※1 10年間の寿命を保証するものではありません。ご使用環境の温度、湿度、ホコリの量や、点検回数（火災警報回数）などのご使用条件によって短くなる場合があります。
- ※2 SA-265Eのみ。

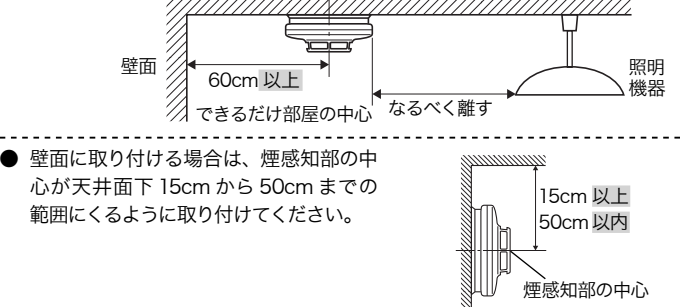
2-3 取付位置の確認

正しい取付位置について

- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。
居室、寝室、階段、廊下
- ※ 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。
各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。
- 警報器のスイッチ（点検、警報音停止兼用）が操作しやすい位置に取り付けてください。



- 天井面に取り付ける場合は、壁やはりから60cm以上離れた位置に取り付けてください。



- 壁面に取り付ける場合は、煙感知部の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。
- ※ 居室が60cm以上のたれ壁や、はりなどで区切られる場合は、感知区域外とみなされますので警報器を設置される場合はご注意ください。

取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。
誤作動や故障、または警報が遅れる原因となります。

- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電氣的故障の原因になります。
- タンスなどから60cm以内の場所。
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
- 温度が0℃～+40℃の範囲を越える場所。
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。
- ホコリや虫の多い場所。
- 空気の流れが激しい場所。
・換気扇や扇風機の近く。
・すきま風の強い場所。

3 取り付けかた

注意

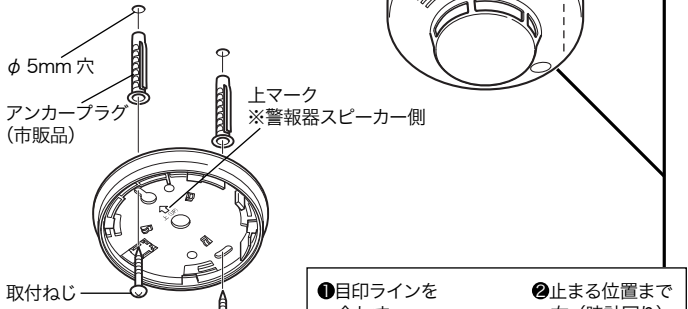
- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
- 取付強度を保持するため、取付ねじ、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。万一、ゆるんだ場合は、取付位置をずらして付け直してください。
- 取り付けには、両面テープを使用しないでください。
- 天井面への取り付けには、石膏ボードピンを使用しないでください。

3-1 天井面に取り付ける場合

木質天井面や石膏ボードの天井面では、棧が通っている箇所に付けてください。

- 取付ベースを、図のように取付ねじ（2本）で天井面に固定する。

石膏ボードの場合
市販のアンカープラグ（φ5mm用）を、石膏ボードに打ち込み、取付ベースを取付ねじで取り付ける。



- ※ 取付ベースを取り付ける向きで、警報器の向きが決まります。ご注意ください。
- ② 警報器と取付ベースの目印ラインが合うように、警報器を取付ベースに合わせて、止まる位置まで右（時計回り）に回して固定する。

〈確認〉
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。

3-2 壁面に取り付ける場合

- 取付ベースを壁面に取り付ける。
- 木材・コンクリートの場合
取付ベースを、図の向きに取付ねじ（2本）で壁面に固定する。

おねがい

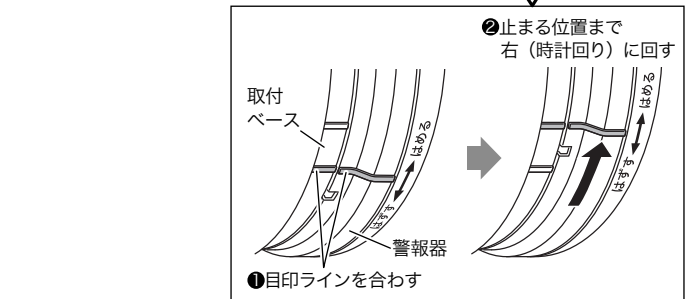
コンクリート壁の場合は、市販のアンカープラグ（φ5mm）を打ち込んで、取付ねじを使用してください。

石膏ボードの場合
石膏ボードピン1本を、取付ベース矢印上部の穴へ垂直に差し込んで仮止める。
さらに石膏ボードピン3本を、図のように斜めに差し込み取付ベースを壁面に固定する。

〈確認〉
取付ベースが、壁面に密着していることを確認してください。

- ② 警報器と取付ベースの目印ラインが合うように、警報器を取付ベースに合わせて、止まる位置まで右（時計回り）に回して固定する。

〈確認〉
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。



3-3 引きひも（別売品）の取り付けかた

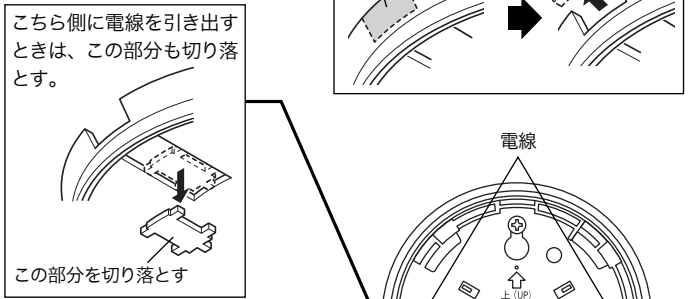
- ① 警報器を外して、引きひも（別売品）を引きひも取付部にはめ込んでください。
- ② 引きひも（別売品）を引いて、引きひもガイドを通して、元のように警報器を取り付けてください。



3-4 外部機器との接続（移報）SA-265Eのみ

外部機器と接続（移報）する場合は、移報接点出力端子に電線を接続します。
接続線は、別途ご用意ください。
（適合電線／線径：φ0.2～0.9mm、より線：0.2～0.75mm²）
※定格に合う外部機器を使用してください。
※外部機器の取扱説明書もお読みの上、接続してください。

〈取付ベースの加工〉
取付ベースの線引き出し口を、ニッパなどで切り落とす。



〈接続のしかた〉

- ① 電線の被覆を10mm取る。
- ② 移報接点出力端子の取り外しボタンを押込んだままにする。
- ③ 電線を接続穴に奥まで差し込んで、ボタンを離す。

おねがい

より線を使用される場合は、線をよじって接続穴に差し込んでください。

4 取り付け後の点検

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- ② スイッチを押す（約1秒）。
引きひもがあるときは、引きひもを引く（約1秒）。
 - 「ピッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。
※ 移報接点信号は出力しません。



- ③ 続いて、スイッチを長押しする（約4秒）。
引きひもがあるときは、引きひもを引く（約4秒）。
 - 「ピッ」音の後に「ピッピッ」と鳴ります。
 - ④ スイッチから手を離します。
 - ランプが点滅し「ウーウーカンカン」火事です 火事です」と警報します。
※ 移報接点信号も出力します（SA-265Eのみ）。
 - ⑤ 1分経過するか、もう一度スイッチを押します。
 - ランプが消灯し、「ビー」音が鳴り、終了します。
※ 移報接点信号の出力も停止します（SA-265Eのみ）。
- ※ 引きひもは別売品です。

〈上記の動作をしない場合〉
警報器の故障が考えられます。
販売店にご連絡ください。

